第1号様式－別紙

【B-10】「オノマトペ（擬音語）で森の音を表現しよう」

多様な生き物が関わりあって生きている森の音を聴き、オノマトペで森を描こう

講義担当：株式会社 JVC ケンウッド

講座対象者	■小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 ■放課後施設利用児童　□中学生　□高校生　□大学生　■地域一般		
授業活用例	小1～小6（国語：擬態語/擬声語、理科：自然観察/生物と環境、道徳：自然愛、横浜の時間、夏休み自由研究など） （内容の難易度は調整可能、小1～小6の集合講義も対応可能です）		
関連のあるSDGsのゴール		オンライン授業	□可　■不可
対応可能曜日	■平日（月～金曜日）　□休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	2 時限目～5 時限目/10時～16 時半位		
年間実施上限数	2回（日程次第で2回以上の開催可。6月、12月は対応不可）		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（パソコン、プロジェクタが利用できる教室等、少し暗くできる部屋） ■ワークショップ（同上。木製スピーカーで森の音を聴いて、絵などを描きます）		
講座所要時間	60 分（15 分＋30 分＋15 分） または 45 分（15 分＋15分＋15 分）		
実施条件、必要な準備等	色鉛筆、スクリーン（大きな白い壁で可）、ノートパソコン（できれば）		

講座内容

1. ねらい

オノマトペ（自然界の音・声、物事の状態や動きなどを音（おん）で表した語）について、その利点や特徴、各人の感覚の共有と違いについて学ぶ。その後、弊社製品の木製スピーカーを使用して森の音（鳥の声、川のせせらぎ、木々の葉音）を聞き、聞こえた音をオノマトペで表現する。森には様々な音があり、音の数よりも多くの生物がいることを知り、多くの生き物が関わりあって生きていくゆりかごである森の大切さを知る。

2. 内容

＜講義（15分）＞

オノマトペについての講義と身近なオノマトペで感覚の共有について確認

＜ワーク（15～30 分）＞

木が作り出す酸素量を模した木製スピーカーで森の声を聞き、聞こえた音をオノマトペで表現（各自で絵を描く、オノマトペのみを書く、チームで1枚の森の絵を作る等対応可能）

＜発表とまとめ（10～15分）＞

書き出されたオノマトペを発表し、感覚の違いや共有を確認。森に生息する多様な生き物とその働きと関わり合い、命のゆりかごとなる森の大切さを知る。等

※対象学年によって内容の難易や実施時間を調整します。お気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先（団体名：（株）JVC ケンウッド　宇梶/鉢呂　TEL：045－444－5380 ）

メールアドレス：JK-ESG JKC@jvckenwood.com